



私のいのち ぜんぶがぜんぶ お育ての中に  
ありました 年の初めも なんまんだぶつ

## 総代会・世話方会 「生命の輝き」

新年明けましておめでとうございます。「私達のご本山は本願寺です。『正信偈』に本願という言葉が 7 回出てきます。阿弥陀仏の本願はすべての生きとし生けるものを、みな等しく救いたいという願いです」(本願寺出版「大乘」より)私達の願いは、自分自身の願いであり、阿弥陀さまの願いと大きな差異があることに気づかされます。毎年 7 月 7 日七夕の日、九州の福岡市で全国の障がい者の親子の集いが開催されます。数年前の事、大会の講師が「今日は七夕さんです。皆さんの願いを書いて下さい!」と言われたが、大会に参加した加奈ちゃん(18 才)は、車いすに乗って何も書こうとはしない。先生が「加奈ちゃん、願いごとはないの?」「何もないです」・・・とのやり取り。そして、いよいよ時間が来て、講師が集めに来て、再び「加奈ちゃん、何でも良いから書きなさい」というと、加奈ちゃんは「どんなことでも良いですか?」「何でも良いよ」とすると加奈ちゃんは「どうかお母さんより 1 日だけで良いから、早く死なせて下さい」と書かれた。隣に居たお母さんも「この加奈より 1 日だけ長生きさせて下さい」と書かれたそうです。この加奈ちゃん親子の願いを思い出す度に私の胸が痛みます。現在、私は 530 名の心身に障害を持たれる利用者の皆さんを 200 名の職員と共に支援をさせていただいており、この利用者の皆さまが、障がいを克服し生かされている「生命の輝きを」尊び強く生きていかれることを目的に「福祉葬祭三重」を運営しています。また、葬祭事業を通して悲嘆の底にあるご家族の皆さんの心のお支えをしたいと考えています。

人は、この世に生を授かりやがてはこの世を去り極楽浄土に生まれ変わる。

この一生涯を「生命の輝き」に気づき、胸に刻むと共に阿弥陀さま、

加奈ちゃん親子、そして自分自身の「願いを」考える一年にしたいと思います。合掌

存仁寺責任役員 横山仁司



**仏教婦人会** 新年おめでとうございます。平素は仏教婦人の活動にご協力ありがとうございます。お蔭様で住職さま、坊守さまはじめ各班長様、先輩の方々のお力をお借りして、又会員の皆様のあたたかなお心を戴き今日を迎えております。どうぞもう少しお付き合いをお願いして、皆様の御多幸を念じ、本年も宜しくお願い申し上げます。

合 掌 会長 臼井美津子

**仏教壮年会** 新年明けましておめでとうございます。皆様には輝かしい新春を迎えられた事とお慶び申し上げます。壮年会に御協力頂きまして厚く御礼申し上げます。昨年を振り返ってみますと色々あった中で、12 月 16 日に行いました 206 回中央教修 3 班での同窓会が一番の思い出です。福岡県、千葉県と遠方より参加くださいました。聞法会館で 3 年振りに逢った友、握手で健康を確認し合いあの手の暖かさ、きっと心も暖かいんだろうな一と感じたことであります。時間の経つのも忘れて話に花が咲きました。病院に勤める貴女、大地震と、大津波、原発の爆発、1 日に 20 回もの地震、まさに地獄そのものだったそうです。そして福岡の大洪水、家も流されたとか、皆さん精一杯生きておられる。私はまだ幸せだと思ったことであります。夜遅く京都駅で別れる時笑顔で一言、ここ 3 年間で今日が一番楽しかった、と頬を伝う涙がネオンで光ってありました。あの一言は絶対忘れられません。今度 2 年後に逢う時は楽しい話をしようねと約束して別れたことであります。帰りの車中ボリューム一杯に六字の名号聞きながら、又近いうちに来ますと、本願寺を後に友の幸せを願いつつ帰りました。皆さん今年も精一杯頑張りましょう。南無阿弥陀仏

会長 落合 易

## 門徒推進員会

あけまして おめでとうございます。私の誕生日は昭和 14 年 10 月 31 日、名前は万千子と命名されました。そして平成 8 年 5 月 28 日に、釋広徳という法名を頂きお釈迦様の弟子とならせて頂きました。誕生から命終わるまでこの名前はいつ、どこにいても、何をしてもつきづめ、守りづめで私を包んで下さっています。毎日「忙しい、忙しい」と心せくまに、そして気儘なこの私に、親(仏さま)は「そのまま、来いよ、必ず救う」とお呼びかけをして下さっています。先立つた親や主人もその名に恥じないように、「念仏申す日暮らし」をしていく私であって欲しい、と願いをかけ、今も私を育ててくださっているのです。今日も一日あなた方(仏さま)に、ご恩と感謝の手を合わせ、今年一年も又たくさんの方々のご縁を大切にご聴聞に励みたいと思います。皆様と共に念仏ご相続、ご法儀に勤めてまいりましょう。宜しく願い申し上げます。

合 掌

会長 保地万千子

## 無量寿会

あけまして おめでとうございます。皆様お健やかに新しい年を迎えられたこととお喜び申し上げます。旧年中は、例会、研修会、報恩講など、数々の行事にご協力、ご指導をいただきありがとうございました。お蔭様で、多くの皆様とご一緒に楽しく学ばさせていただくことができました。今年もまた、皆様ご健勝で無量寿会の“輪”が広がりますように念じ年頭のご挨拶とさせていただきます。

合 掌

会長 丸橋美優喜

この時が大切なのに (虚しさ)・

札幌市 大島義勝

何気なく過ごすこの時が 明日も

有るのだろうか ふと思う・

これからが これまでよりも短い

この時が大切に思える歳になった

今日が 当たり前と過ごす日々が

続くとは 私には 思えない・

「明日ありと 思う心の あだ桜

夜半に嵐の ふかぬものは」

二度と無いこの人生「今を生きる」

願うのは 娘のこと 息子のこと

妻のこと 大過ぎなく幸あれと祈る

何故か空しく 今日目々過ぎる

この時が大切に 「今を生きる」

私の 筈だったのだが 早や一年

今朝も 仏前に手を合わし・

来年こそはと 南無阿弥陀仏・



新年明けまして南無阿弥陀佛 初句

年重ね なんまんだぶつ 初明り

信心の 足の一步や 初参り

身を清め 香煙ゆらぎ初詣

元旦や 家族の笑顔 福来たる

百ばかり 福と云う字を 初硯

今年又 同じ柱に 新暦

老いてまだ 華やぐ心 初鏡

箒置き 夕陽傾く 西の方

お蔭で 今日も一つがなし

ああ父さんや 母さんや 遠からずして

我も往く 待ってておくれと

手を合わす 山口 玉照

あかあかと

命燃ゆる

ナナカマド

あかあかと

命燃ゆる

ナナカマド

あかあかと

命燃ゆる

ナナカマド



朝倉市  
森田  
瑛子  
さん  
より

札幌市  
大島  
光子  
さん  
より